

支 出 書

会 派 名	公 明 党	整理No.1-
科 目 (該当○印)	① 調査研究費 2 研修費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広報費 6 広聴費 7 要請・陳情活動費 8 会議費 9 人件費 10 事務所費	
金 額	114,030 円	
支出年月日	2022 年 7 月 11 日	
支 出 内 容	同期会出張費 (神奈川県大和市、山形県南陽市、 東京都千代田区)	
支 出 先	別添のとおり	

領 収 書 (該当○印)	有 (別紙の領収書等添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

別紙

領収書添付用紙

支出書整理No. | - |

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 公明党
(代表者) 塚本裕三様

2022年7月13日

¥114,030

但、7月11日～13日神奈川県
大和市、山形県南陽市、東
京都千代田区への出張旅費

[内訳]

上記正に領収いたしました

	金額	摘要
交通費	75,130円	
日当	9,300円	3日
宿泊料	29,600円	2泊
()		

(会派名) 公明党

(名前) 奥陽治



研究研修・調査報告書

会派名	公明党	報告日	令和4年8月5日
代表者	塚本裕三 	報告者	奥陽治 
参加者	奥陽治		
実施日	令和4年7月11日～令和4年7月13日		
研究研修・調査等の場所	① 「シリウスについて」 神奈川県大和市 ② 「おきタクについて」 山形県南陽市 ③ 「行政のデジタル化について」 東京都千代田区		
目的	先進自治体の事例研修と 国（デジタル庁）の方向性を学ぶため。		
調査内容： ① 7/11 13:30～15:30 「シリウスについて」 大和市自体がコンパクトな市であり、人が集まりやすい立地の利点を生かし、図書館（滞在型）を中心に、芸術や文化ホール、生涯学習センター、趣味を生かせる場の提供と子どもの居場所づくりとしての遊び場などの複合的で多様な施設を学び、全施設内を見学した。 1日平均の利用者が9,000人を超え、一部有料の座席もあるが常に満員状態とのこと。 低年齢児から高齢者まであらゆる世代の居場所になっている事は、大いに参考にできるし、図書の貸し出しや返却にもデジタル化が採用されており、非常にスムーズに運営されていると感じた。			
② 7/12 14:00～16:00 「おきタクについて」 どの地域でも、特に過疎地域の高齢者の移動の課題が浮き彫りになっている。今回視察した、山形県南陽市の中の沖郷地区では公共交通機関が全くない			

エリアで、高齢者の移動手段確保のため 60 歳以上を対象に登録制とし、自宅から病院やスーパーなどあらかじめ指定された場所に限定し、予約制ではあるが一回（片道）500 円で利用出来ることで、利用率が高まっているとの事。

その中で、課題としては沖郷地区の 2,000 戸で構成されている協議会に利用の有無に関わらず、一定金額（年 200 円）の負担があること。事前に登録が必要で、利用前日までの予約も必須であり、また指定された場所以外は行けないことなどがある。

運行については、通常のタクシー会社がタクシーとしてかかった運賃の差額は協議会が負担している。平均して 1 回につきプラス 700 円程度かかり、国、県、市で按分し運行業者に支払っている。

令和 2 年 2 月に実施したアンケート調査では、沖郷地区対象者の 15% が登録済みで登録者の約 34% の利用実績があり、外出機会が増え良かったと回答した方が 36% だそうです。

本市には当てはめにくい事業かなと感じた。沖郷地区以外の方からの声を聞きたかったが答えられなかった。

③ 7/13 13:00～14:00

広島 7 区選出の衆議院議員の小林デジタル副大臣に面会し直接レクチャーして頂いた。

福山市の課題からみる今後のデジタル化の方向性と国の施策についてパワー・ポイントを見ながらの講義でした。

デジタル田園都市国家構想推進交付金は、地域の課題解決や魅力向上に取り組むもので上限 1 億円の補助があり、副大臣と枝廣市長が連携をとり施策を推進している方向性が理解できた。先進都市の事例なども披歴してもらい参考になった。

今回の視察を通じて、本市の向き合う課題の多さも実感できた反面、他市と比べ本市も色々と施策を推進していると実感した部分もありました。

課題と感じたことは、今後議会で提案していくこうと思いました。